

# 基礎看護学実習

## 【実習目的】

健康障害を持つ人を理解し、日常生活援助を通して、看護が実践できる基礎的能力を養う。

## 【実習目標】

- 1 対象を取り巻く環境と看護活動の実際を知る。
- 2 対象と良好な人間関係を築ける。
- 3 対象の日常生活援助が実践できる。
- 4 科学的思考のプロセスを用いて、看護展開ができる。
- 5 看護学生としてふさわしい態度がとれる。

## 【構成および計画】

授業科目	実習内容	時間	単位(合計時間)
基礎看護学実習Ⅰ	人間関係成立・対象の日常生活支援	40	1 (45)
	実践活動外学習	5	
基礎看護学実習Ⅱ	看護過程の展開・対象の日常生活支援	80	2 (90)
	実践活動外学習	10	
合 計		135	3 (135)

### <実践活動外学習の内訳>

	項目	目的	内容	時間
基礎看護学実習Ⅰ	全体オリエンテーション	実習を円滑に行うために、実習の概要を理解し、実習施設の情報を得る。	実習目的・目標、実習の全体計画、実習方法、実習上の注意事項、基礎看護学実習Ⅰの目的・目標、時間数、内容、記録・報告、評価等	4
	施設・フロアーオリエンテーション		施設・病棟の概要、特徴、病棟実習上の留意点等	1
基礎看護学実習Ⅱ	全体オリエンテーション	実習を円滑に行うために、実習の概要を理解し、実習施設や患者の情報を得る。	基礎看護学実習Ⅱの目的・目標、時間数、内容、記録・報告、評価	3
	フロアーオリエンテーション		施設・病棟の概要、特徴、病棟実習上の留意点、受持ち患者の紹介等	2
	安全教育	実習における対象の安全について考えられる	対象の安全確保の方法、インシデント・アクシデントレポート	3
	実習まとめ	学習を共有し今後の課題を明確にする。	学びの共有、自己の振り返り	2